

令和4年5月20日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立毛野南小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立毛野南小学校	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

- ・第1学年からEAAと接することで、児童は外国人とふれ合うことに抵抗なくコミュニケーションを図ることができている。
- ・全クラス、授業中に全員が話す機会を設定しているが、特に1年生ではどの児童にも話す機会が設けられ、授業以外でも学習した英単語を使おうとする姿が見られており、学習の成果が感じられる。
- ・高学年でも、低学年からの積み重ねにより、外国の文化や、英語を聞くこと、話すことに意欲的な様子である。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- ・英会話学習の時間を楽しみにしている児童が多く、ALTやEAAに積極的に挨拶をしたり話しかけたりして、自然にコミュニケーションをとることができている。
- ・6年生の英語チャレンジDAYでは、足利市の良さや歴史・観光名所等をALTやEAAに英語で紹介し、学習してきた内容を実践することができた。また、鎌倉の小学校との交流では、その経験を生かし、ALTやEAAからもアドバイスを受けながら、自信をもって足利について英語で紹介することができた。

<保護者>

- ・英会話学習、外国語活動の様子を、学年だよりや学校だよりで紹介することで、家庭で英語の学習について話をするきっかけとなっている。
- ・学校公開等で授業を参観することで、学習に対する関心が高まっている。

4. 実施の効果及び課題

1年生から学習を積み上げることで、英語を「話す」「聞く」「書く」ことに抵抗を感じることなく学習を進めることができる児童が多くなった。発表する際にも自信をもって取り組めたり、EAAやALT、クラスの友達と進んで英語でコミュニケーションをとろうとする姿もたくさん見られた。

今後は授業以外の中で、実際に英会話を使う機会を多く設定するなど、児童の生活の中で英語が自然に発せられるようになることを目指したい。

5. 課題の改善のための取組の方向性

令和4年度は英語専科が在籍し、3年生以上は主に専科教員とALT・EAAが授業にあたる。授業ではなるべく日本語での説明を少なくし、教員が英語で説明したり、コミュニケーションを図ったりするよう努め、児童がより英語に慣れ親しむよう取り組んでいく。また、発音ではALTやEAA、デジタル教科書を積極的に活用し、児童のリスニングや発音の力を伸ばすことにつなげていく。デジタル教科書は専科や担任が発音や会話文を確認するためにも活用していきたい。

また、3年生以上は専科が担当することで、各学年の系統性を意識して指導にあたって

いく。さらに、専科教員と担任との連携を密にし、学習状況を担任も把握することで、学校生活の中での英会話の指導に役立てていく。

6年生に関しては、オンラインを利用した他校との交流や、修学旅行での班別行動の際に英会話を実践する機会を設ける等、学習したことを実践する場を設定したい。